

災害から身を守るために 私たちの避難計画「マイ・タイムライン」

10月15日、那須中央中で防災教育をテーマとする熟議が開催されました。「防災教育」は町独自に導入する新教科「NAISUタイム」のテーマの一つで、生徒たちは町の防災の担い手になれるよう学びを深めてきました。

熟議では、生徒たちが作成を進めている「マイ・タイムライン」（自分自身がとる標準的な防災行動計画を時系列に整理し、自ら考え命を守る避難行動の一助とする計画書）の作成に向けて、学校運営協議会委員や各地区社会福祉協議会長らと意見交換を行いました。熟議の様子は各クラスで中継されました。

那須水害や東日本大震災の実体験をもとに、災害時に必要なことや町内各地域の特徴から想定される被害を聞くことができ、マイ・タイムラインの作成の大きな手掛かりとなりました。



地域の方からの災害の体験談は、当時の緊迫感を感じさせるものでした



地区ごとで班に別れて意見交換



「自分たちでは分からないところを地域の方の力を借り、マイ・タイムラインを完成させ災害対策に役立てたい」と話す生徒リーダーの清水尚さん（3年）



生徒は自分の考えをしっかりと伝えることができました

地元のお米を食べてほしい!!卒業生から新米寄贈

10月22日、旧黒田原中の卒業生4人（平山翔太さん、大島佑太さん、石黒和哉さん、磯原一さん）が那須中央中を訪れ今年採れた新米を寄贈しました。4人は農業を営むなどする同級生で、後輩たちに町内で採れた米を食べてほしいと考え、学校に提案し実現しました。

当日は、給食委員の平山舞華さんと石山双葉さんが寄贈に至った経緯などをインタビューする様子が撮影され、新米が給食で提供された25日と29日に全校生徒に向けて放映されました。

平山さんは、「地産地消の大切さや地元の産業に興味を持つきっかけになってほしい」と地元への熱い思いを語ってくれました。



緊張しながらインタビューしました



お米は給食でおいしくいただきました（10/25 学校給食）



左から、石黒和哉さん、平山翔太さん、大島佑太さん、平山舞華さん（3年）、石山双葉さん（3年）